
下野市歴史的風致維持向上計画（案）について

平成30年11月

下野市 都市計画課
文化財課

歴史的風致維持向上計画とは

地域の歴史を伝える文化遺産を活用した魅力あるまちづくりを推進するために具体的なビジョンを描く計画



策定の目的

下野市で歴史文化を活かしたまちづくりを展開

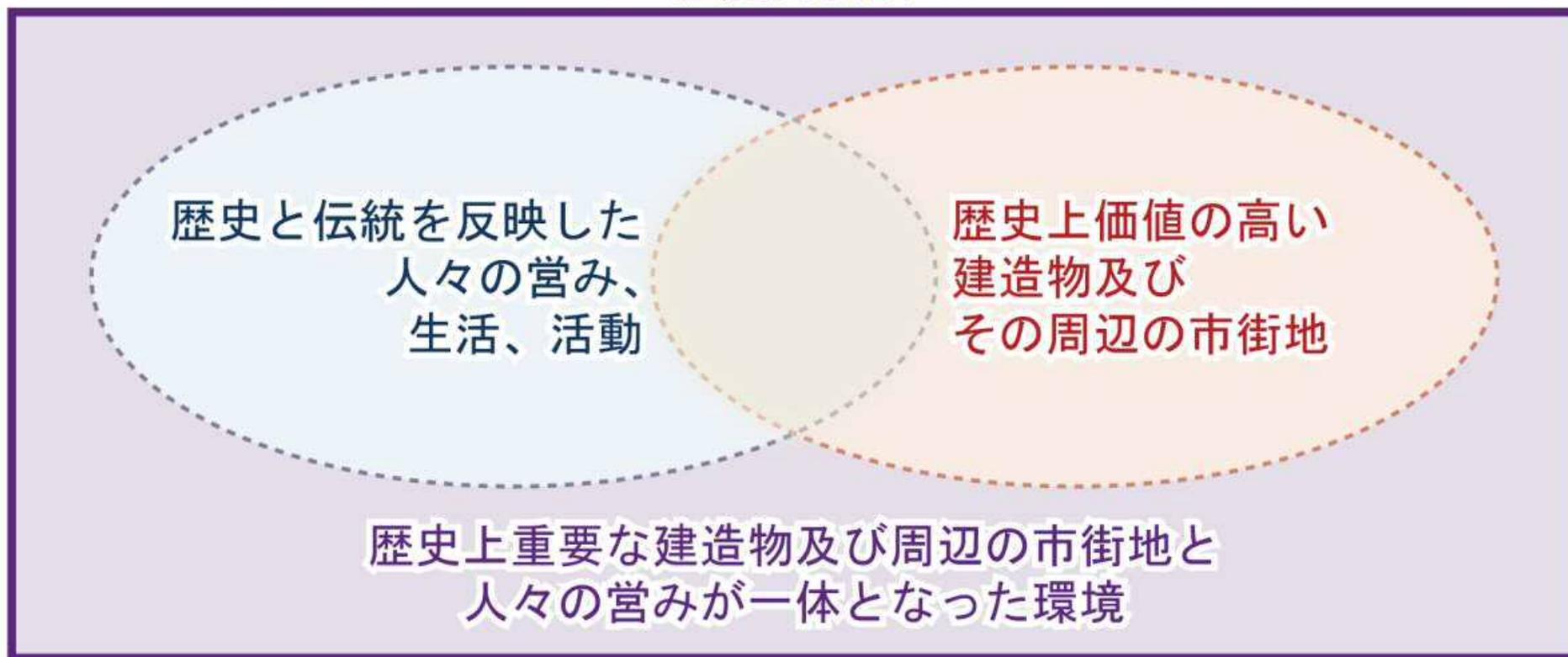
- 「歴史的風致」として取り扱う題材の歴史的な価値を整理し、全域・エリア・拠点における具体的な活用（ソフト・ハード）までを描く計画
- 文化財に対する知見と都市計画的な知見が必要な計画

下野市の計画期間

平成31年（2019）度 ～ 平成40年（2028）度

「歴史的風致」とは、地域におけるその固有の歴史及び伝統を反映した「人々の活動」とその活動が行われる「歴史上価値の高い建造物及びその周辺の市街地」とが一体となって形成してきた良好な市街地の環境

歴史的風致



歴史的風致の条件

歴史的建造物（50年以上）

人々の活動（50年以上）

その舞台となる環境



歴史的風致

価値付け
分布範囲

他市事例

<歴史まちづくりパンフレット>

広島県尾道市 (平成24年6月計画認定)

寺社を中心とした祭礼・行事などの歴史的風致を有している尾道市は、国宝浄土寺を含む尾道・向島地区などを重点区域とし、浄土寺方丈の修理事業や、景観地区の設定などの施策を進めることで、魅力ある歴史的まちなみの形成が進み、外国人観光客の増加等の効果が見られています。



浄土寺に奉納される吉和太鼓おどり



紙園祭の迫力ある三体廻し



三匹の鬼が町中を練り歩くベッチャー祭



爽籟軒庭園で一息つく外国人観光客

外国人観光客数の増加



◆認定後、外国人観光客が倍増しています

他市事例

<歴史まちづくりパンフレット>

山口県萩市 (平成21年1月計画認定)

史跡松下村塾を中心とした明治維新に関する歴史的風致を有している萩市は、萩市平安古地区伝統的建造物群保存地区を含む歴史的風致保存区域を重点区域とし、旧萩藩校明倫館^{めいりんかん}活用推進事業や、屋外広告物条例の活用などの施策と企業などの協力が相まって、まちの魅力が向上しています。



江戸時代の地図が使える萩城下町



明治維新の原動力となった志士を輩出した松下村塾



平安古地区における手廻り備え行列



重点区域の中心に建つ旧萩藩校明倫館

景観に関する意識の向上



改修前



改修後

◆屋外広告物についても歴史的まちなみへの配慮がなされています

3. 下野市の維持向上すべき歴史的風致

歴史的風致形成の背景

下野市の位置

- 関東平野の北部栃木県の中南部に位置
- 都心から約85km圏首都圏の一端を構成
- 面積は県内最小
74.59km²

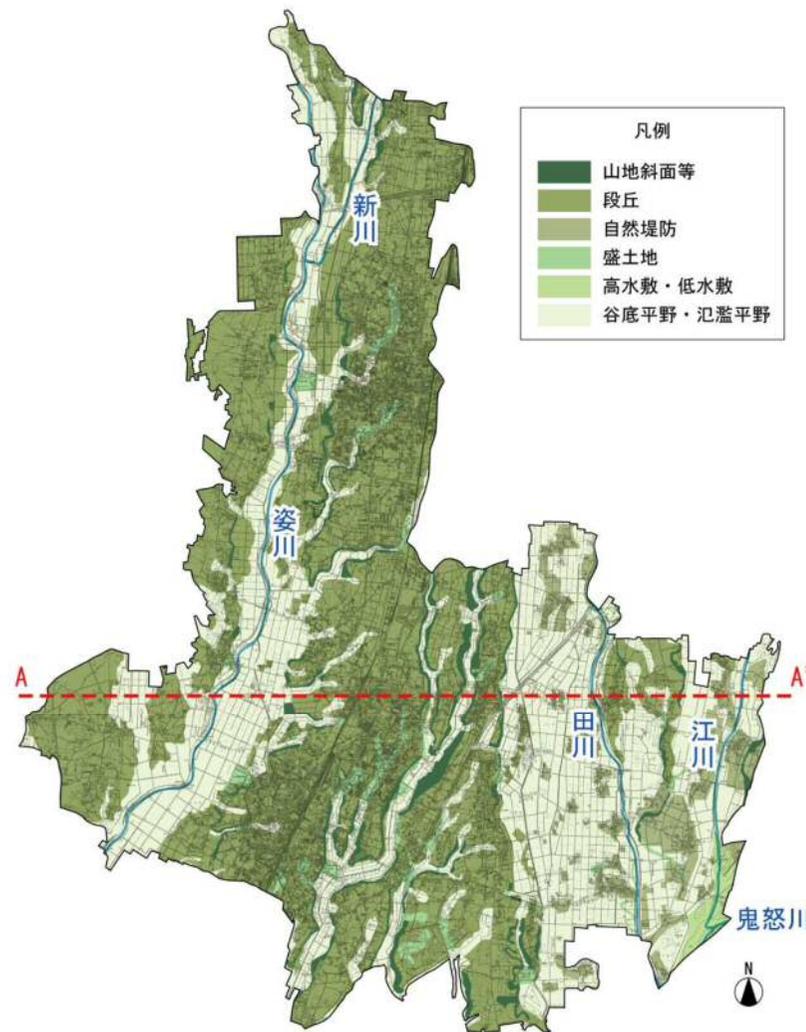


3. 下野市の維持向上すべき歴史的風致

歴史的風致形成の背景

下野市の地形・水系

- 西部に姿川・思川、東部に田川・鬼怒川が南流
- 河川に接した低地は水田
- 台地上には300年の生産の歴史をもつ干瓢の原料となる夕顔畑



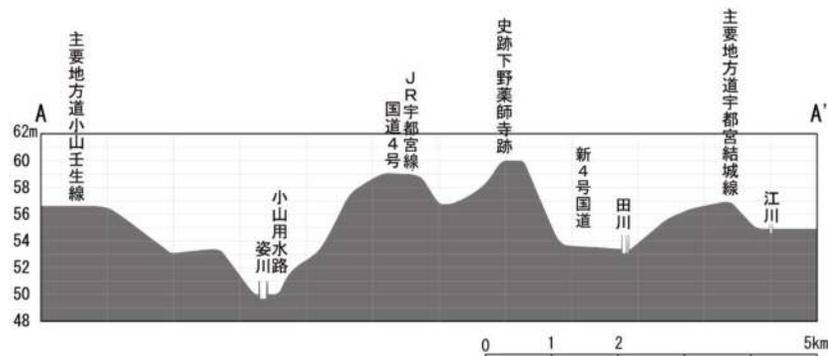
凡例

山地斜面等
段丘
自然堤防
盛土地
高水敷・低水敷
谷底平野・氾濫平野



低地の水田景観
吉田地区の航空写真
〈南河内町史〉

台地上の夕顔畑



3. 下野市の維持向上すべき歴史的風致

歴史的風致形成の背景

歴史的環境

- 縄文時代の草創期に人々が定住を開始
- 古代における東山道の整備や下野薬師寺、下野国分寺・尼寺の建立によって古代下野国の政治・文化の中心地として繁栄・発展
- 中世に鎌倉街道など、近世に日光街道などを整備

【原始～古代】



下野国分寺



下野国分尼寺



下石橋愛宕塚古墳



丸塚古墳

【中世】



児山城跡



薬師寺城跡

【近世】



小金井一里塚



小金井宿の町並み

【近代】



市内の道路



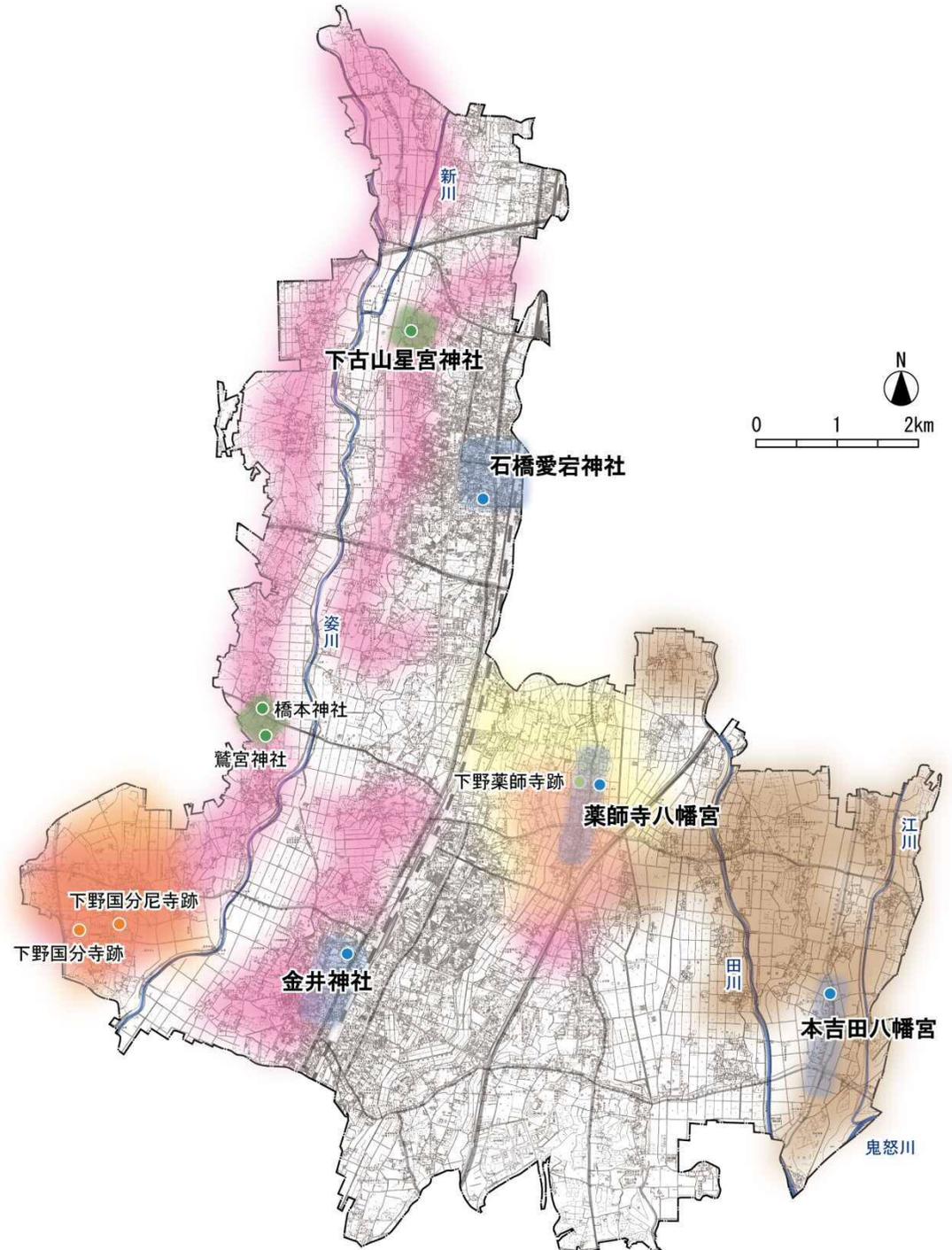
旧型国電保存車両

3. 下野市の維持向上すべき歴史的風致

- ① 歴史的風致の条件
- ② 歴史的風致形成の背景



-  薬師寺地域にみる歴史的風致
-  国分寺地域にみる歴史的風致
-  天王様（祇園祭）にみる歴史的風致
-  太々神楽にみる歴史的風致
-  干瓢生産にみる歴史的風致
-  ワラデッポウにみる歴史的風致



薬師寺地域にみる歴史的風致

- 創建以来、東国仏教の中心的役割を担い、官寺となり戒壇が設置されるなど隆盛を極めた。
- 下野薬師寺は安国寺と改称したものの、周辺の集落と寺院との関係、そして周辺環境を含めた空間構造は下野薬師寺を中心に形成・維持そして継承されている。
- 「薬師寺」という名称が現在も地名などにみられ、この地域が仏教寺院を中心とした社会的な共同体ともいえる関係を維持
- 祭礼や伝統行事など、民俗・文化的にも下野薬師寺との関係を礎として発展、維持、継承



安国寺における花まつり



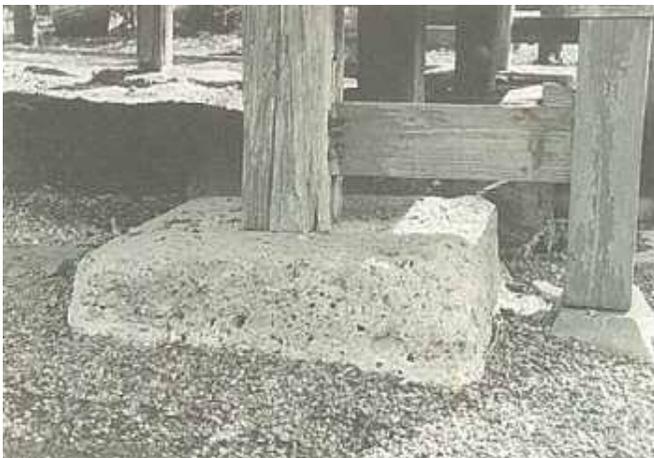
雷電信仰の札と水田



下野薬師寺関連施設・三味場

国分寺地域にみる歴史的風致

- 寺院創建以前から多くの古墳が築造され、国庁も近隣に立地するなど、古代の下毛野地域の中心となる地域に建立
- 官寺としての仏教寺院は11ないし12世紀頃には衰退したものの、その後現在に至るまで大きな開発などは行われることなく、寺院跡は平地林として地元住民の生活にかかわりも持ちながらも、「神聖な土地」という意識は連綿と受け継がれ、古代以来の空間の基本構造を保続
- 国分寺としては場所を変え引き継がれ、周囲の神社などの宗教施設や平地林などとこの地域における信仰や伝統行事、日常生活などにおいて有機的な関係を保持



釈迦堂の礎石



愛宕神社の清掃



現・国分寺の地の茅の輪くぐり

天王様（祇園祭）にみる歴史的風致

- **天王信仰に基づく祭礼**は様々な地域に残る厄除けを目的とした祭礼
 - 地域によっては五穀豊穡の意味も含んでいる
 - 下野では神社の祭神である牛頭天王にちなんだ「**天王様**」という愛称で人々に親しまれている
 - 本市の天王信仰に基づく祭礼は、次の5つの地域を中心に独自の発展をしながら現在まで継続
 - 天王様は、**地域コミュニティの継続を支える意義**が大きい
- ①薬師寺地域（薬師寺八幡宮）、②本吉田地域（吉田八幡宮）、③石橋地域（石橋愛宕神社）、④下古山地域（下古山星宮神社）、⑤小金井地域（金井神社）



石橋愛宕神社 天王様（1950）



薬師寺八幡宮における 天王様



石橋愛宕神社における 天王様

太々神楽にみる歴史的風致

- 下古山星宮神社と橋本神社では、現在も自前の太々神楽を継承
- 明治あるいは江戸時代から続くとされる太々神楽を毎年奉納
- 太々神楽当日は、歴史ある神社の境内に太鼓や笛が奏でる音が鳴り響き、神聖な雰囲気の中か面をつけた舞手が舞う様は、歴史的な風情を感じさせる。
- 舞や演奏の技術は、保存会をはじめとする地域の人々によって受け継がれている。



下古山星宮神社太々神楽



橋本神社太々神楽保存会による練習風景

干瓢生産にみる歴史的風致

- 干瓢は夕顔の実（ふくべ）を薄く細長く剥いて乾燥させたもので、300年もの生産の歴史をもつ下野市の特産品
- 干瓢生産は、下野市内の農村地帯ほぼ全域において行われており、当地域の近代以降の経済発展に貢献したのみでなく、堆肥の原料となる落ち葉を供給する平地林と夕顔畑、干瓢生産の場である石蔵を備えた農家住宅が一体となった下野特有の文化的景観を形成
- 初夏になると夕暮れの畑に真っ白な夕顔の花が咲き乱れ、農家の庭いっばいに干瓢が干される景観と、夕顔の実を剥くシュルシュルという音や干瓢を漂白する際に使用する硫黄の匂いが風物詩となっている



麦わらが敷かれる夕顔畑



夕顔の実（ふくべ）が
積み上げられている風景



干瓢を干す様子

ワラデッポウにみる歴史的風致

- ワラデッポウは、藁の中に芋柄などを入れて縄を巻いたワラデッポウ（叩き棒）を作り、子どもが集団で地区の家々へ行き、豊作を願う掛け声を唱えながら、ワラデッポウ（叩き棒）で地面を打ちまわり、供え物やお小遣いをもらう行事である。
- 吉田地区と薬師寺地区において継承されている。
- 藁製のワラデッポウ（叩き棒）の制作は、学校や育成会の活動を通して、親やお年寄りから子供たちへ伝承



ワラデッポウ（叩き棒）



ワラデッポウの様子①



ワラデッポウの様子②

下野市の歴史的風致に関して

歴史的風致の維持向上に関する課題



歴史的風致の維持向上に関する方針



歴史的風致を維持向上できる事業

4. 下野市における歴史的風致の維持向上における課題・方針

地域の歴史を伝える文化遺産の保存・活用に関して

	課 題	方 針
1	指定文化財の調査研究	● 核を成す史跡を保存・整備、活用
2	指定文化財は埋蔵文化財が多い 文化財の価値が分かり辛い	● 価値を効果的に伝えるハード・ソフトを適切に使用 ● 周辺環境も含めた一体的な保全による多様な価値・魅力の顕在化
3	均衡のとれた文化財の把握	● 未指定文化財の調査の推進 ● 文化財と周辺環境を総合的に保存・活用 ● 周辺住民や教育・研究機関等との協働による調査・維持管理・活用
4	歴史的風致建造物の保存・活用	● 未指定文化財の調査の推進 ● 活用団体への支援
5	建物の老朽化・空き家化・現代的な建物への建替進行	● 登録文化財の推進 ● 所有者の維持管理負担の軽減・修理等に対する支援

歴史的風致の認識向上・魅力発信に関して

	課 題	方 針
1	情報拠点が点在・情報が統一されていない	● 既存施設を利用・地域内外に広く情報発信 ● サイン・マップ・ガイド等による情報発信 ● 効果的な情報発信
2	集客力の向上	● 集客力の向上を見込めるしかけ作り
3	来訪者の利便性が確保されていない	● 来訪者の利便性の向上 ● ユニバーサルデザインに対応した便益施設の検討 ● 案内板や休憩施設などの拠点を整備
4	エリアの周遊性が悪い 歴史文化資源にアクセスするための移動ルートや手段の未整備	● エリアの回遊性を向上させるしくみの検討 ● 来訪者の利便性の向上 ● 周遊ルート設定 ● 快適なアクセスを実現するための移動手段の整備
5	ブランディング	● ブランド認定周知のさらなる促進

歴史と伝統を守り、継承する人々の活動に関して

	課 題	方 針
1	均衡のとれた文化財の把握	<ul style="list-style-type: none"> ● 詳細な調査実施 ● 文化財への指定の検討 ● 民俗行事等が継承できるよう支援
2	伝統行事等に関する後継者不足による存続の危機	<ul style="list-style-type: none"> ● 活動の周知（披露・交流の場の拡大） ● 継承状況や活動内容に関する記録保存 ● 教育活動での普及
3	地域住民が担い手となる活動における人材確保が困難	<ul style="list-style-type: none"> ● ボランティア等による協力体制の構築

地域の文化や伝統を支えた生業の継承・発展に関して

	課 題	方 針
1	農業の担い手の高齢化・後継者不足	<ul style="list-style-type: none"> ● 農業の担い手への支援や農業経営の高度化への支援の展開 ● 流通整備や販路開拓 ● 農業を安定して継続できる環境や新規就農者が参画しやすい環境の創出 ● 体験型農業や対面型農産物販売等の振興
2	遊休農地・耕作放棄地の増加による良好な農業景観の阻害	<ul style="list-style-type: none"> ● 農地の高度利用に努める （農地中間管理機構や人・農地プランの活用により認定農業者等の担い手への利用集積等）
3	干瓢生産に関して	<ul style="list-style-type: none"> ● 登録有形民俗文化財の推進 ● 道具の確保や販路拡大など、生業としての継続が可能となるような支援の実施 ● 情報発信や新たな需要の開拓

周辺的生活環境に関して

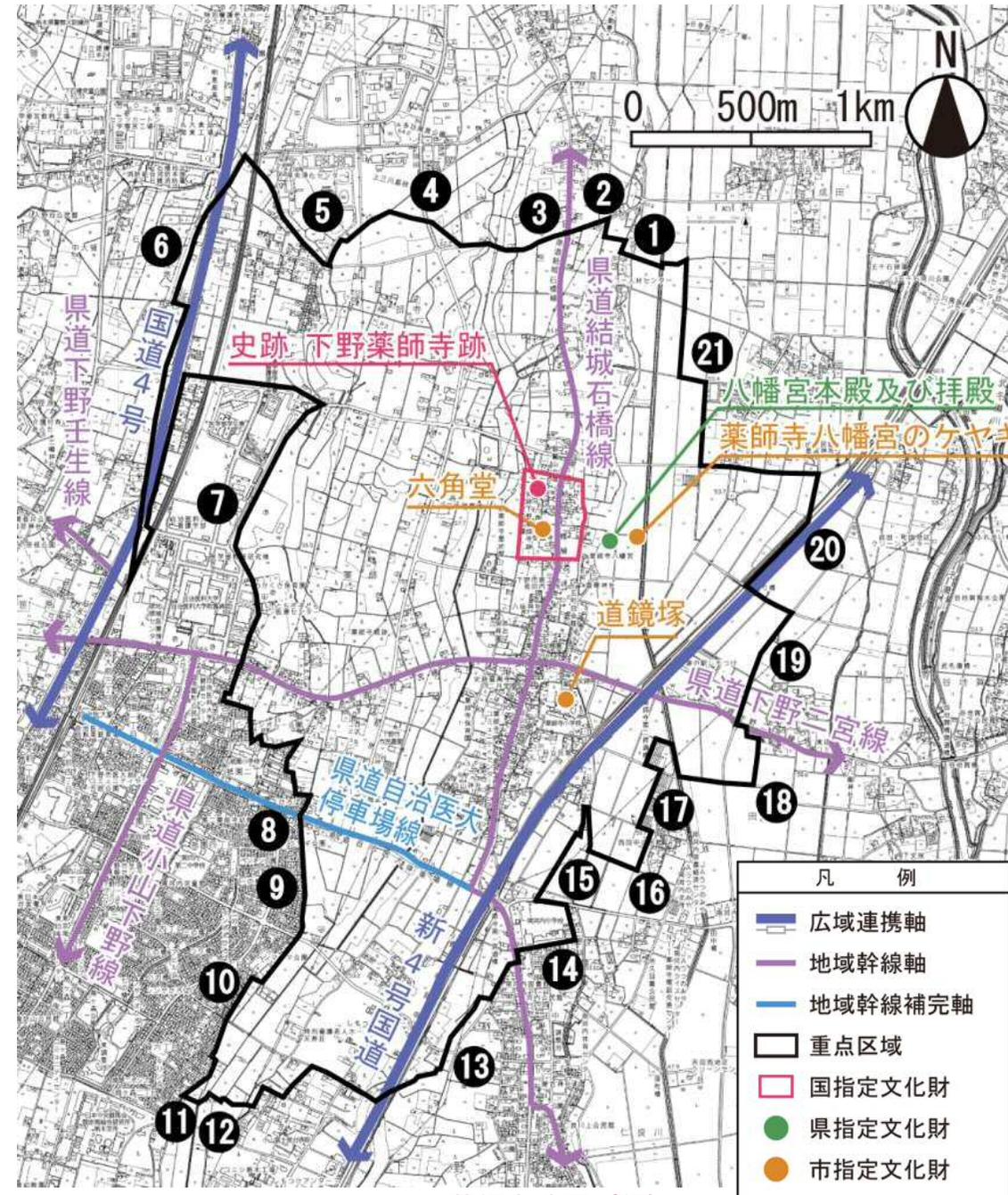
	課 題	方 針
1	景観に関する規制等がほとんどない	<ul style="list-style-type: none"> ● 景観計画の策定による良好な景観形成 ● 公共施設の修景整備
2	平地林の環境を伝える天平の丘公園施設等が老朽化	<ul style="list-style-type: none"> ● 天平の丘公園の再整備

重点区域とは

- 重要文化財、有形民俗文化財若しくは史跡名勝天然記念物として指定された建造物の用に供される土地又は重要伝統的建造物群保存地区内の土地及びその周辺の土地の区域であって、歴史的風致の維持及び向上を図るための施策を重点的かつ一体的に推進することが特に必要であると認められる等の要件に該当する土地の区域

薬師寺地区

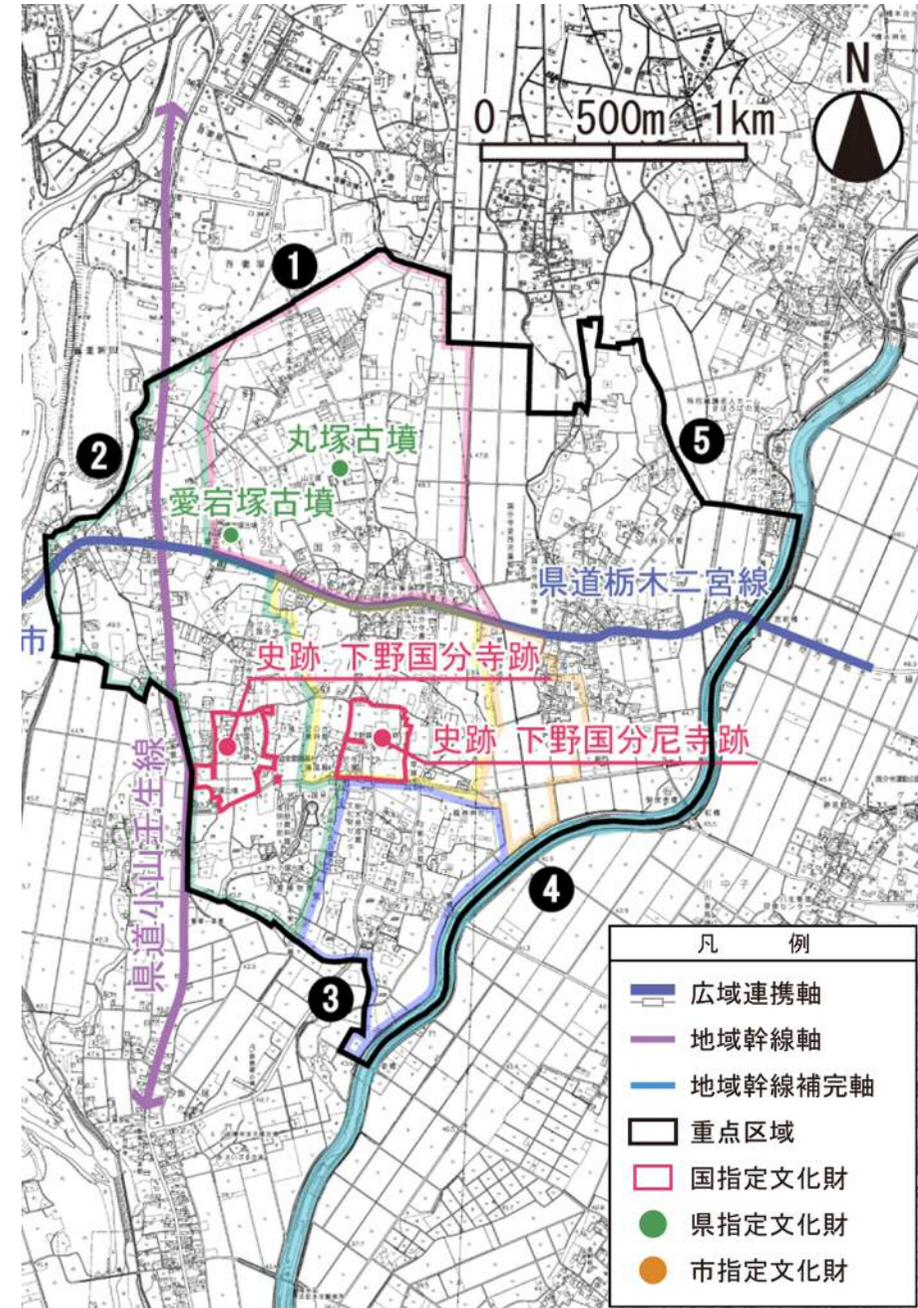
- 薬師寺地域にみる歴史的風致
- 天王様（祇園祭）にみる歴史的風致
- 干瓢生産にみる歴史的風致
- 安国寺、龍興寺、薬師寺八幡宮などの信仰を伝える社寺及び地域活動の範囲（大字薬師寺）



薬師寺地区（仮）

国分寺地区

- 国分寺地域にみる歴史的風致
- 干瓢生産にみる歴史的風致
- 下野国分寺・国分尼寺への信仰を伝える寺院と愛宕神社の祭礼、国分寺地域で行われる地域活動が立ち現われる範囲



国分寺地区（仮）

